

公共データのオープン化と 有効活用への期待

2012年7月27日

オープンデータ流通推進コンソーシアム設立発表会



経団連副会長・情報通信委員長

渡辺 捷昭

1. コンソーシアム設立にあたっての期待

- 政府自らが公共データを公開し、営利・非営利を問わず活用を促進する方針が示されたことは画期的
- コンソーシアム活動により、電子行政の一層の加速、新サービス創出による社会経済全体の発展につながることを期待

2. 公共データの有効活用に向けた環境整備

- 東日本大震災では、情報共有の重要性や課題を再認識
- 公共データの有効活用のためには、課題整理、ルール整備等、環境整備を行い、社会基盤として定着させていくことが必要

3. コンソーシアム活動を担う各委員会への期待

(1) 「利活用・普及委員会」への期待

- ・利用者ニーズの把握、情報を探しやすくする工夫、しくみづくりを期待

(2) 「技術委員会」への期待

- ・公共データの流通、連携に向けたしくみづくり（データフォーマット等）、国際標準化提案を期待

(3) 「データガバナンス委員会」への期待

- ・データの2次利用に関するルールの整理により、新ビジネスの創出や企業活動の効率化の促進を期待

4. 今後の取組み

- ・コンソーシアムの活動により、国民が効果を実感できるオープンデータ戦略の実現を